

1 部

学習サポート

各種申込締切について

『試験・スクーリング情報ブック』にてご確認ください。

※2025年度版は通信教育部ホームページからご確認ください。

- ・学年暦→p. 4～5 ・通信教育部カレンダー→p. 9～11
- ・演習・実習科目関連締め切り等 社福→p. 24～27 精保→p. 28～29

2025年4月以降の変更・留意点

●会場スクーリング開講日の変更【再掲】

科目：「地域福祉と包括的支援体制A」

会場：仙台 担当：大石剛史先生

日程：(変更前) 秋期Ⅱ10/4・5 → (変更後) 秋期Ⅲ10/25・26

科目：「社会福祉援助技術演習B」

会場：仙台 担当：関川伸哉先生

日程：(変更前) 11/8・9 → (変更後) 11/15・16

●東京会場の変更について【再掲】

東京会場は「ビジョンセンター日本橋」(中央区日本橋室町1-6-3)から「ビジョンセンター赤坂(永田町)」(千代田区永田町1-11-28)へ変更になります。詳細はp. 45をご確認ください。

8 / 11(月)～15(金)の夏期事務室対応について

- ・事務室休業日：8 / 12(火)～14(木)
 - ・電話対応休止日：8 / 11(月)・12(火)・13(水)・14(木)・15(金)
 - ・メールへの返信、証明書や学割の発行：8 / 11(月)～15(金)に頂戴したメールへの返信は8 / 16(土)以降になる場合があります。
- ※オンデマンド9期（試験提出締切：8 / 15）に関する急を要する質問等はメールにてお問い合わせください。
- ※詳細は本冊子 p. 42をご参照ください。

【重要・再掲】2025年度4月以降の冊子版の副教材について

『試験・スクーリング情報ブック2024』 p. 18他で既報の通り、『レポート課題集A・B・C』『試験・スクーリング情報ブック』『With』は2024年度（2025年3月）をもって冊子版（印刷物）での配付を終了いたしました。各電子版（PDF）を通信教育部ホームページにて閲覧してください。

【重要・再掲】2025年度以降の各種申し込みについて

『With』冊子版の廃止に伴い、科目修了試験、会場スクーリング、各種演習・実習指導科目のお申し込みはWeb上での受付となります。

科目修了試験・会場スクーリングはポータルサイトでのお申込みとなります。

各種演習・実習指導科目につきましては、個別のご案内となります。具体的な方法については『With』各号やポータルサイト等でお知らせいたしますので、ご確認の程お願いいたします。

【再掲】 幼保特例講座の延長に伴う対応について

令和6年6月に本特例制度にあたり2030年度までの延長が通知されました。これに伴い、本学における「幼保特例講座」を延長して開講させていただきます。

なお、2030年度に達する前に本学における幼保特例講座を終了する可能性もございますので、受講中の皆さまにおかれましては、お早目の単位修得を行うようお願いします。

学ぶ楽しみに関する一考察

教員 MESSAGE

准教授 山口 奈緒美

「心理学者が本能という言葉を使うなんてあってはならない」と指導教官からむか—むか—しに指導されたことがあります。これに異議を唱える心理学者もいるでしょうが、しかし、敬愛してやまない指導教官の言葉です。なぜ彼は私にこう言ったのか、当時の私は理由を彼に尋ねることができませんでした。これは自分で考えなければならないことだと思ったのです。それから、これについては20年以上ずっと時折考えていて、いくつかの解答が浮かんでは消え、浮かんでは消えを繰り返しています。そして、やはり、こういうことではないかと最近になって思うことがあります。

そしてみなさん、学問を楽しいと思う瞬間はありますか。…あれ？ずいぶん話が飛びましたね。私の指導教官の言葉と、学問の楽しさと、どう関連するのでしょうか。段落と段落の間にはつながりを持たせなければならぬといつもレポートの添削で言っているのに、大変申し訳ないです。しかし、きっと、これを読み終えるころには、いずれにしてもこう段落を構成するしかなかったのだなと皆さんにご納得していただけることと思います。

さて、指導教官の言葉に戻ります。指導教官は、私に、「本能ということばを使って、心理プロセスに対する観察、思考、考察、説明を放棄するな」と伝えたかったのではないのでしょうか。学部1年生などの初学者向けの心理学の授業を行ったりすると、時々、学生から、「そんなことは経験的に知っている」というような反応が返ってくる場合があります。そうです、経験的には知っていることだと思います。心理学は人々の行動プロセスの一般法則を明らかにする学問ですもの。そうでしょうとも。しかし、その現象を掘り上げて説明しようと試みようとしたことはありますか？お

そらく、“経験的”に知っているということと、“説明できる”ということの間には大きな違いがあるのです。それは、“無自覚”と“自覚”の違いではないかと思うのです。こうした反応は、学年があがるとなくなってきます。おそらく、学問に向き合ううちに自然とこの違いを理解できるようになるのだと思います。

みなさんが今日1日の中で経験したことは、おそらく無数にあるでしょう。朝起きたらいつもより多少気分が良かった、早く起きられたと思ったのに結局家を出る時間はいつもと同じ時刻だったなど、数えきれないほどの経験をしています。でも、ひとつひとつの経験について、なぜそうなったのか、専門とする学問の観点から考えて説明してみようとすることは少ないかと思います。もしかしたら、理解できればとてつもないきらめきを持つかもしれないそれらの経験は、無自覚のまま、埋もれていつているのかもしれない。なんてもったいない！

先述の例は個人的な経験についてだけですが、世の中には無数の人間がいて、関わり合い、無数の現象を引き起こしています。ニュースで伝えられる現象について、みなさんは驚くばかりですか？なぜそうなったのかについて自分の持ちうる学問的知識を総動員して考えたことはありますか？今ある知識で説明できないのであれば、新たな説明を試みようとしてみましたか？あまりそこまでしませんよね、だって苦しいですもの。考えるのを放棄したいです。しかし、そこで踏みとどまって考え続けること、一歩進んで、自分なりの説明を試みること、そしてそれができたときにこそ、学問が楽しいと思える瞬間がやってくるのではないかと思うのです。もうすぐ産業・組織心理学のスクーリングです。みなさんが日々経験している、埋もれそうになっている職場でのあれこれを、私が日々経験している、埋もれそうになっている職場でのあれこれを、自覚的に説明できるように、学問って楽しいと思える瞬間が訪れるようにしていきましょう。

通信教育部には社会福祉学科と福祉心理学科があります。それぞれの学

科で教授される専門的な知識やその専門領域独自の視点があるでしょう。4月に学び始めた方も、だいぶ学びが進んだ方も、その専門的な立場からの事象の説明を試みることをあきらめないで続けてほしいと思います。レポートでよい成績を得たり、資格を得ることもきっと学問の楽しさのひとつだと思います。しかし、身に着けた専門性を通して世の中の事象や制度や人々を見つめなおし、目の前のできごとを取りこぼさずに向き合って理解できたときにこそ経験できる学問の楽しさもぜひ味わっていただきたいと思います。

